

新パンフレット 「大学生のための 人生とお金の知恵」の ご紹介〈前編〉

金融広報中央委員会では、『大学生のための 人生とお金の知恵』という新しいパンフレットを作成しました。大学生に向けて、自立して生きていくうえで役に立つ「人生とお金」に関する知恵を幅広く紹介しています。

■新パンフレット表紙



大学生向けのパンフレット

金融広報中央委員会では、2015年3月、『大学生のための人生とお金の知恵』というパンフレットを新たに作成しました。

このパンフレットは、大学生に向けて、生きていくうえで役立つ「人生とお金」に関する知恵を、幅広く紹介したものです。

今号は、前編として、本書でどのような「人生とお金」に関する知恵を身につけることができるか、その全体像をご案内します。

わかりやすい三部構成

本書は、「人生のデザインとお金」、「お金の知恵」、「不確実な人

生に船出する」の三部から成ります。

大学生に対し、まず、「人生のデザイン」を描くこと、人生における「お金」の問題と向き合うことを勧めています。

次に、今後の人生で長く活用できる「お金の知恵」を、基本から幅広く紹介し、身につけていただきます。

最後に、「不確実な人生に船出する」うえで、ぜひ知っておいていただきたい知恵を紹介しています。

I 人生のデザインとお金

第一部「人生のデザインとお金」では、まず、高校卒業までに

現実的な感覚を養い、大学で能力を高めることの大切さを理解することを期待しています。

次に、生涯の支出と収入のイメージを描いてみます。人生の三大支出（教育、住宅、老後）の金額の大きさを知るとともに、収入は働き方などによって大きな差があることを理解します。

また、「働くこと」と「収入」との関係を考えることからスタートし、「働くこと」と「社会」との関係（世の中全体としてのくらしが良くなること）や、「自分の幸せ」との関係（夢の実現、人生の充実感など）についても考えてみます。

そして、人生のデザインを描くことの大切さを理解し、自分の人生で「ぜひ実現したい」と思うことを書き出してみます。

「人生における重要なこと」の多くは、30歳までに発生するといわれます（職業選択、結婚、最初の子どものなど）。これを踏まえ、30歳のときに、どんな自分になっていきたいかを考えます。そして、30歳までの行動プランを書いてみます。とくに大学卒業まで

自分にとどのくらいのお金がかかったか、考えてみます。多くの人が、多額のお金がかかっていることに驚きます。さらに大学でも多くのお金がかかることを示します。これらを通じ、お金に関する

の行動プランは、具体的に書いてみます。

大学生には「時間」という資源が豊富にあります。能力を大きく伸ばすことができる時期です。「時間」を「能力」という資源に変換できるように、時間の有効な使い方を考えます。

Ⅱ お金の知恵

第二部「お金の知恵」では、お金とうまくつきあいながら生きていくために必要な知恵を身につけます。

まず、**お金の機能や特徴**を理解することから始めます。

「お金」は人々の「信頼」に依存すること、お金には「価値を貯蔵する」機能がある（ただしインフレには弱い）こと、「複利」（利子にもまた利子がつく）の威力は大きいことを学びます。お金が2倍になる期間を暗算で簡単に計算する方法も身につけます。

同様に、**貯蓄、支出、運用、借入れ、保険**など、お金のさまざまな扱いに関して、多くのコツを紹介しています。人生で長く使える知恵です。



Ⅲ 不確実な人生に船出する

第三部「不確実な人生に船出する」では、**人生の不確実性**というリスクに向き合い、自分らしく適切に**意思決定**していくための知恵を学びます。

たとえば、リスクなくしてリターンは得られない、といった

「リスクとリターンの関係」を理解し、幸せを実現するために、リスクをコントロールしながらチャレンジしていく姿勢を学びます。

また、損失を回避・予防・軽減すること、損失に備えて貯蓄と保険を使い分けることについても学びます。さらに社会全体として不確実性に備える仕組みとして、

社会保障（社会保険、社会福祉、公的扶助）の基本を理解し、お金に関するトラブルを避けるための知恵も身につけます。

本パンフレットをご利用いただくには

本パンフレットは、当委員会のホームページ（知るぽると）

<http://www.shiruporuto.jp/> でご覧いただけます。冊子をお読みになりたい場合、左記の宛先にメールまたはファックスにてご連絡ください。

当委員会では、本パンフレットを使って大学における講義等（新入生向け説明会等を含む）を実施しています。大学の先生や金融関係団体が活用くださる例も増えています。

大学などで教材、勉強会資料等として使用いただける場合、希望部数を送付します（無償）ので、左記あてにご請求ください。



こちらからPDFファイルをダウンロードすることもできます。

宛先：金融広報中央委員会 刊行物担当

●メールアドレス
books@saveinfo.or.jp

●FAX番号
03-3510-1373

件名：刊行物請求

記載事項：①申込者氏名、②郵便番号、③送付先住所、④電話番号、⑤本パンフレットの名称（「大学生のための 人生とお金の知恵」）、希望部数、⑥利用目的、利用日、⑦その他連絡事項